# のとちょう議会だより

発行：能登町議会　発行日：平成 28 年 8 月 1 日　編集：能登町議会広報編集特別委員会

茅の輪くぐり　　※写真の説明はＰ８下段参照

## 第 45 号の内容


●６月定例会議の一般質問・・・・・・・・・・・Ｐ２－４
●議会と語ろう会・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
●６月定例会議の議案質疑・・・・・・・・・・・・Ｐ６
●常任委員会レポート・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
●議会活動と編集後記・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８


第45号

# いっぱん質問

## 6月定例会議の一般質問

### 問　わが町の選挙体制について、問う

**問**　今回の参議院選挙から再編される、わが町の選挙体制について、公職選挙法が改正された趣旨に沿ったものとしての体制となっているか。

**答　総務課長**

本町の投票所の閉鎖と再編については、人口減少、高齢化などによる事務従事者の確保などを勘案し、投票区域の見直しを行った。これについての説明は、議会、町会長、区長さん方に行い、24箇所から17箇所に整理統合した。

田端　雄市　議員

閉鎖した投票所の対応については、平日に半日程度、旧投票所に期日前投票所を設け、また、啓発運動を行い、投票率向上に努めたい。

**問**　閉鎖された投票所の地区の方々は、今までも親戚や近隣にお願いして、車に同乗させてもらいながら、実施してきた、その負担が今回、さらに大きくなる。これを考え、投票のための送迎バスの運行を委員会では、協議されたか。

**答　総務課長**

バスの運行について、能登町選挙管理委員会で送迎車両や運転手の確保、運行形態など検討した。が今回は送迎バスの運行の予定はしていない。

今後、移動手段の確保が困難となれば、移動支援の導入は選択肢の一つとして、検討したい。

**その他質問**

**問**　**町内のコミュニティーバスの運行を要望**

全国的に、代替手段のないまま、路線バスの廃止、休止が報告されている。本町の公共交通はいつまでこのまま、続くと考えているか。

**答　町長**

公共交通の継続性は、民間事業者のことであり答えられないが、今後も継続して運行してもらいたいと考えている。

**問**　路線バスとともに、導入されているデマンドタクシーの利用状況も登録者数　400人で決して多くない。中長期的にバス路線も含めた公共交通の再構築を検討すべきではないか。提案として、公共交通事業の継続性の観点から町が事業主体、運行を民間事業者が担う体制を構築。また、路線は、『広・略・要』として、それぞれ担う役割区分を明確にする。

**答　町長**

公共交通の再編については、現在の事業者の競合等法的な規制がある。また、近隣他市町との広域的な交通手段、町の負担経費など、総合的に現状の交通システムが有効と考える。

### 問　平成27年度会計の決算見込みを聞く

椿原　安弘　議員

**問**　5月末で平成27年度会計の出納が閉鎖されたが決算見込みを聞く。

**答　会計管理者**

一般会計で実質収支が3億5600万円の見込みで、地方債残高は188億の見込み。

**答　上下水道課長**

収益的収支で9157万7千円の黒字見込みである。また、地方債残高は21億1110万5千円である

答　一般会計で3億5,600万円黒字の見込





**答　病院事務局長**

収益的収支で3553万1千円の純利益で黒字の見込みである。また、地方債残高は13億5065万円の見込みである。

**その他質問**

**問**　**18歳選挙権での対応は**

公職選挙法が改正され選挙権年齢が20歳から18歳以上に引き下げられたが、どのような対応をしたか。また、18歳、19歳の有権者数はどのくらいか。

**答　選挙出前講座や模擬投票実施等を実施した**

**総務課長**

18歳19歳の新有権者数は281名でその内高校生は41名である。町では国や県と連携を図り、18歳選挙権の啓発等主権者教育の一環として啓発ポスターの掲示やパンフレット、リーフレット等の配布を行った。また、選挙出前講座や模擬投票授業も実施した。

**問**　**柳田庁舎と内浦庁舎の総合支所化概要は**

昨年の3月町長は柳田庁舎や内浦庁舎を建て替え、総合支所化を表明しているがその概要を聞く。

**答　住民の行政窓口や地域住民の活動拠点としたい**

**町長**

今後は、宇出津地内に建設する新統合庁舎を本庁として、役場の機能を集中させ効率的な行政運営を図るが、これまで地域の行政用務で住民に親しまれてきた柳田、内浦庁舎は総合支所として行政窓口や地域住民の活動拠点の施設としたい。

建設場所は現在の場所とし、柳田は山村開発センターと公民館及び情報センターと結び、内浦は現在の福祉センター及び集会ホールや公民館を集約させた施設整備が必要であると考えている。来年度より現地測量や必要な調査を実施し、新総合支所の規模や建設位置などを検討していきたい。

### 問　災害に強い町づくりと防災、減災の取り組みは

市濱　等　議員

答　防災の取り組みに限りが無い　いろいろな角度から取り組む

**問**　一般住宅の耐震化の促進は、体の不自由な方を対象とした一室シェルター化に助成を。避難所の多くに問題がある、再検討を。学校避難所の運営形態はどうか。九里川尻地区住民の避難路についてどうする。ドクターヘリ導入に率先運動を。

**答　町長**

住宅の耐震化は進まない、診断、改修費に助成をして、PRに努める。シェルターは一部の人のみでなく、町民全体を対象に取り組む。避難所の見直しを検討する。学校については、教育現場に影響が出ないように対応する。九里川尻地区に対しては緊急避難タワーを研究取り組みができればと思っている。ドクターヘリの必要性について訴える。

**その他質問**

**問**　**予約制乗り合い制度デマンドタクシーについて**

デマンドタクシーは、住民の足として大変便利な制度だが、なぜ宇出津一極集中なのか。松波松波、柳田地区にも郵便局やお医者さん等、地域を護っている頑張って営業している方々がお出でになる。各地区にも制度の充実を。

**答　公共交通会議等で検討項目として考えたい**

**町長**

当初は交通困難地域に対応するため導入した。アンケートで救急告示病院である宇出津病院の利用要望が最も多かった。一般乗用のタクシーの経営と密接に関係する面もあるが、今後、公共交通会議で検討する。

**問**　**職員研修制度について**

職員の資質向上は、能登町の活性化に繋がる。自治大学研修等、活発に予算をかけて、長期的に派遣し、職員の意識改革を。

**答　職員の資質、教養向上の派遣、研修に努力する**

**町長**

職員の資質、教養の向上を図るため、県の職員研修所の研修には積極的に参加を促している。選択研修のうち、財務事務、法制執務、政策法務研修は平成27年度より指定研修として取り組んでいる。自治大学研修には長期に渡る研修はないが、毎年一名派遣している。研修期間は三カ月あまりになる。今後も公務員としての使命感、管理者意識の涵養を目的に積極的に取り組む。

## 問　介護士不足の要因と その解消策を示せ

### 答　良い方策があるかどうか 研究をする

**問**　昨年秋に、県の発表によると、２０２５年には、中能登以北で、要介護認定者は、２９４０人増となり、介護従事者は４００人足りなくなると見込んでいる。介護士のお仕事は３Ｋと言うことも言われていますが、こんな風にも言われております。体力、精神力、コミュニケーション力が必要とも言われ、我々が想像する以上に厳しい仕事であると思われます。介護士さんへの支援は、要介護者の方への支援や要介護者を抱える家庭への支援にもなる。老後を安心して介護受けられ、介護職員も温かみのある介護職員が、たくさんおられ、住んでよかった町だと云えるためにも、能登町版の介護士さんへの支援を早急に講ぜよ。

**答　町長**　能登町と致しては、まず、各介護施設と連携し、介護従事者の処遇改善の継続実施を引き続き国に働きかけ、人材の確保や潜在的な有資格者の掘り起こしに取り組み、経営者等を対象に経営改善や職員のストレスケア等労働環境に関するセミナーを実施するなど、側面的な支援を考えておりますが、ほかに何か良い方策があるかどうかこれから一生懸命研究させていただきたいと考えております。

宮田　勝三　議員

### その他質問

**問**

**町内会と行政間での土地賃貸契約を改めよ**

町有地を地区や町内会と契約されている、箇所数とその年間累計額を聞く。

**答　町長**　町内会の集会所やキリコ小屋等、11箇所で総額５７２９０円であります。

**問**　地区集会所については三町村合併の中難しい点もあったかも知れないが、現時点では、公平性に欠けている。また、町内会でキリコ等の倉庫として利用されている土地についても日本遺産に認定され、伝統文化継承に努めている。特に集会所は行政の一役を担っている。早急に改めるべきと思うが。

**答　町長**　集会所等には能登町集会所建設基準の内規はありますが、改善する方向で統一に向けて対処したいと考えておりますのでご理解いただきたい。

向峠　茂人　議員

## 問　平成 34 年度末石川北部 RDF 廃止に伴う町の対応は

### 答　今年度中に最も経済的安定的で環境に配慮した方式を選定する

**問**　平成34年度末で石川北部ＲＤＦが廃止と聞くが廃止は奥能登全体に影響があると考えるが、特に、当クリーン組合は珠洲市との協力施設で今後どのような焼却を考えて、また、奥能登２市２町との対応策を聞きたい。

**答　町長**　ＲＤＦ施設運営委託契約が平成29年度で終了となり自主財源の売電収入の単価減、処理コスト高により広域処理組合において協議した結果、５年間の施設延長をもって、平成34年度末に当該施設の閉鎖するとの結論が出された。

当奥能登クリーン組合では、平成35年度以降も現行の施設を稼働し県外へ搬出しＲＤＦを処理する方法、また、新たな処理方法等を昨年度検討資料収集業務を実施し、事業費、維持管理費や今後減少が予想されるゴミ量への対応から新処理施設の建設も検討中である。しかしながら、いずれの方式も整備に多額の事業費が必要で、国の交付金対象となる方策を現在、県や環境省と協議を重ねている。今年度中に最も経済的かつ、安定的で環境にも配慮した方式を選定することにしている。

現行の奥能登クリーン組合は、珠洲市と共同処理を行って、存続していく。

### その他質問

**問**

**能登町版アドプト制度の構築を。**

従来より地域住民が道路、河川等の公共施設の道路愛護活動を実施しているが、高齢化、過疎化により、今後活動困難が予想される。そこで、県が取り組んでいる我が町アドプト制度の導入、又は、能登町版アドプト制度を構築してはどうか。

**答　町長**　この制度は、資金や物品を提供するサポーターと美化活動に取り組む地域のボランティア団体の存続が必要不可欠で当町においては、平成25年４月に能登町環境美化に関する条例を制定し、かけがえのない豊かな自然環境を未来へ継承すべく取り組んでいる。能登町版アドプト制度、能登町美化フロンティア制度の構築は、まず地域ボランティア活動団体の発掘と育成、支援方法を検討し、既存の制度を最大限に活用していかなければと考えている。

**注：「アドプト」とは市民と行政が協働で進める清掃活動で、まち美化プログラムの意味。**

※向峠議員の一般質問は５頁下段へ続く。







# 「議会と語ろう会」

平成28年６月15日及び17日に「議会と語ろう会」が小学校の校区単位５会場で初めて行われました。

これは、平成26年に設置した「能登町議会基本条例」の中に、町民との意見交換会を開催する旨が盛り込まれています。そこで、町民の皆様からのご意見、思いを聞く機会を持ちたいと考え、この「議会と語ろう会」の開催の運びと成りました。

当日は予定の時間を過ぎて閉会した会場もあるほど、活発な話し合いが行われ、町民の皆様から多くのご意見をいただきました。すべてのご意見を議員が共有し、所属の委員会にて審議し、政策立案や提言に反映していきたいと考えています。

今回の皆様からいただいた意見内容を抜粋して報告させていただきます。

**◎テーマ**

**人口減少対策について**

**町　民**　人口減少は能登町だけでない。若者を呼び込む施策を実施することだ。たとえば、もっと有利な住居の提供をすべき。

合併から10年、なぜ、人口は減ってきたのかを考えるべきで、そこを出発点としなければならない。（柳田山村開発センター）

**議　会**　道路が出来たら街を出た、便利になったら出ていった等の意見がありましたが、近年は一次産業の農業や漁業に希望を持って、能登町に移住して来る若者もいる。農業や漁業に入ってくる、Ｉターンの受け皿をしっかり設けることも大事と考える。例えば、一次産業の事業所に社会保険加入の環境整備をしていくことが大事と考える。

**町　民**　婚活への対応はどうなっているのか。（鵜川公民館）

**支援員**　婚活パーティ等を開いており、出会いの場を多くして支援したい。現在１００名の方が登録されている。割合は、男性60名、女性40名。

**町　民**　能登に耕地面積が少ないので、大量生産ではなく、付加価値の高い野菜や果物を生産しなければ、太刀打ちできない。例えば、無農薬の生産物を作ることを提案したい。（内浦福祉センター）

**議　会**　観光農園等も視野に入れて特徴のある農家を育てることも一緒に考えるよう行政に提案したい。

**町　民**　借上町営住宅について現在町営住宅に入居している人とこの借上町営住宅に入居人との公平さはどうなのか。（コンセールのと）

**議　会**　借上町営住宅の入居者は、Ｉターンの人のための住宅として、即対応出来るため、空き室も確保することを考慮して作るものであり、競合はないものと考える。

**◎テーマ**

**新庁舎建設について**

**町　民**　新庁舎の建設場所の選定において、津波被害の想定はなかったのか。（柳田山村開発センター）

**議　会**　防災マップ（県作成）では、津波被害は逃れている。また、町執行部も宇出津湾の形状から、その場所まで至らないとの見解であった。

**町　民**　議員はチェックする機関だと思うが、ちゃんと精査しているのか。新庁舎の問題を今後、しっかりチェックして欲しい。（小木地区活性化センター）

**議　会**　今後は立ち止まるところは立ち止まり、しっかりチェックしていく。

・コンセールのと会場の「議会と語ろう会」

※「議会と語ろう会」は６頁へ続く。

# 議案をチェック

## 6月定例会議の議案質疑

平成28年6月定例会議の議案質疑で、2名の議員が質問した。主な質疑、答弁は次のとおり。

**問** 向峠茂人　議員

ふるさと振興基金の繰り入れが500万円とある。基金による事業の展開は。

**答** 企画財政課長

補正の繰入金として、500万円を一般会計に財源として繰入れた。この金額については、定住促進事業に充当した。

ふるさと振興基金による事業展開として、今年度は、8千500万円を当初予算で繰入している。事業内容として、子育ての社会福祉の活動支援、観光、地域振興の支援等の目的に使っていきたい。

**問** 向峠茂人　議員

六本木ヒルズふるさと納税祭りに予算が115万円計上されている。その内容と参加人数と経費内訳を答弁せよ。

**答** ふるさと振興課長

テレビ朝日が行うもので、来場者が約500万人見込まれるものである。町は大いにPRできると考え、8月1日から7日まで、実施することとなった。

人数は総勢　16名、そのための旅費、需要費、役務費として計上した。

**問** 向峠茂人　議員

ふるさと納税の今年度の予想は。

**答** ふるさと振興課長

今年度の実績として、4月、5月は、744件、金額は約1千万円である。昨年と比較し、今年度は、全国的に各自治体も力を入れてくる、また、熊本地震の影響で、義援金寄付の方向への移動も考えられる。町として、さらにPRして、応援寄付へと努力していく。

**問** 宮田勝三　議員

能登高校魅力化事業として、2千万円あまり計上されている。これについて、説明せよ。

**答** 総務課長

能登町の生徒の力を伸ばす教育環境の整備を目指すもの。具体的には、『まちなか鳳雛塾』を設置。外部人材の地域おこし協力隊4人が、生徒に応じた学力と人間力を伸ばすプログラムを実施する事業である。今回の補正では、2千100万円を計上した。内容は、地域おこし協力隊4人の非常勤職員の報酬、旧宇出津公民館を改修し、使用するための工事費324万円、運営委託料として、約815万円、備品購入費として、100万円などを見込んだ。

ダイジェスト版　パート2

# 「議会と語ろう会」

## 5会場で約120名の方が来られました

**◎テーマ**

**新庁舎建設について**

**町　民**

庁舎建設の必要性はわかった。町民のため、高齢者や子供にも使いかっての良いものにと期待したいが、骨子案というものを示してもらいたい。（コンセールのと）

**議　会**

骨子案なるものはまだ出来ていない。今後、庁舎建設へ向けての局面で、行政に申し入れをしながら建設を見守りたい。

**◎その他**

**町　民**

例規集の閲覧を希望したいのだが。（柳田山村開発センター）

**行　政**

役場の窓口にて、パソコン画面で閲覧できる。必要であれば、コピー可。

**町　民**

能登高校支援事業の見直しを。（小木地区活性化センター）

**議　会**

魅力化事業として、公営塾の強化を図る。特に、英語力の強化を推進している。

**町　民**

コンセールのと付近で避難場所がない。公衆電話もないため、高齢者が困っていると聞くので、設置できないか。また、観光地での公衆便所が汚いように思えるが。（コンセールのと）

**議　会**

対処するように町行政に伝える。

**町　民**

議会と語ろう会のあり方について、膝を突き合わせて話し合いをするのなら、公民館単位や集落単位でやってもらいたい。（鵜川公民館）

**議　会**

今後、検討していきたい。

**会　場**

**・鵜川公民館**
**・柳田山村開発センター**
**・小木地区活性化センター**
**・コンセールのと**
**・内浦福祉センター**





# 総務産業建設委員会

**國盛孝昭（委員長）**
**椿原安弘（副委員長）**
**田端雄市・市濱等**
**酒元法子・河田信彰**
**宮田勝三**

6月7日に委員会を開催し、付託された議案2件を審議し、全会一致で可決するものと決定した。

審議過程での主な質疑応答は次のとおり。

**●一般会計補正予算**

**問**

地方創生推進費での報酬は地域おこし協力隊のものか。

**答**

教える講師は、町で非常勤職員として雇用して、まちなか鳳雛塾で活動してもらう予定である。7月から月額18万円の報酬を9か月支払うこととしており、報酬とその他の活動費は各々200万円を上限とする特別交付税を財源に充てることとしている。

**問**

創業等支援助成金について説明せよ。

**答**

今年度あらたに制度を設けたもので、町内であらたに創業する事業者、或いは現在町内で営まれている既存事業の継承者が事業拡大、また、新しい分野に進出するような場合に地元金融機関と連携して支援する事業である。

**●管内視察の実施**

○県営ほ場整備
　柳田中央地区
○大箱送水ポンプ場
　大箱地内
○北河内配水池
　大箱地内
○道の駅「桜峠」
　直売施設増築
　当目地内
○宇出津港水産物鮮度保持施設、加工処理施設予定地
　宇出津新港

# 教育民生委員会

**金七祐太郎（委員長）**
**小路政敏（副委員長）**
**南　正晴・向峠茂人**
**鍛治谷眞一・久田良平**

6月7日に委員会を開催し・議案1件を審議。議案1件は全会一致で可決すべきものと決定。審査過程での主な質疑は次のとおり。

**●一般会計補正予算**

**問**

ひとり親家庭等生活向上業務とはどのような事業か。

**答**

低所得者家庭の学習を支援する事業。小学生は主に夏休み中に学習の遅れを取り戻すことが目的であり、学習サポーターが支援する簡易の塾のようなもの。中高生については10月より月2回、夜間に学習支援するものである。

**問**

海洋推進プログラム事業は、金沢大学とかいろいろなところで同じような事業があるので、各所が協力できるよう合同会議のようなもの提案したいが。

**答**

金沢大学にも協力し、能登里海研究所が作成したパンフレットを各小中学校へ配布したり、講師に招くなど連係していきたい。

**●その他**

能登高校魅力化に関連し「まちなか鳳雛塾」の内容、目的の説明を受ける（総務課の事業であり当委員会の担当ではないが、教育関連であることから、事業内容の説明を聞いたもの）

**●管内視察の実施**

同日、真脇地内に建設中の「ドブネ保存収蔵庫」の現地視察、及び藤ノ瀬地内の三郷斎場地内の修景池、駐車場の視察を実施。

（建設中ドブネ保存収蔵庫）

## 4月から6月の主な議会活動

4月19日　広報編集特別委員会
4月26日　石川県町村議会議長会定期総会・功労者表彰式（内灘町役場）
4月28日　議会運営委員会
4月28日　総務産業建設常任委員会
※各学校入学式
5月10日　能登自動車道能登区間建設促進協議会総会
5月11日　奥能登クリーン組合議会臨時会
5月20日　のと里山海道整備促進期成同盟会総会
5月27日　議会運営委員会
5月30日　全国町村議会議長・副議長研修会（東京都31日まで）
※各町団体総会等
6月2日　全員協議会
6月6日　第3回能登町議会6月定例会議（議案上程）
6月7日　常任委員会
6月8日　のと里山空港利用促進議員連盟理事会・総会
6月14日　第3回能登町議会6月定例会議（一般質問）
6月15日　議会と語ろう会（鵜川・柳田・小木各校下）
6月17日　全員協議会
6月17日　第3回能登町議会6月定例会議（採決）
6月17日　議会と語ろう会（宇出津・松波各校下）
6月28日　静岡県小山町議会行政視察（会派4名）
6月29日　能登地区町議会連絡会（コンセールのと）

## 次の定例会議は９月６日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。
**ぜひ傍聴にお越しください。議場が昨年３月より能都庁舎に変わっております。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。**

## 編集後記

『議会と語ろう会』を町内５箇所で実施した。初めての開催でもあり、答弁が噛み合わないところもあったようである。また、町執行部が進めていることと町民の方との思いが随分、開きがあるとも感じた。
今後も、数を開くことで、そのギャップを埋めていきたい。
盛夏のなか、体調管理にひと工夫をお願いしたい。

委　員　田端　雄市

広報編集特別委員会
委　員　長　田端　雄市
副委員長　金七祐太郎
委　員　小路　政敏
　　酒元　法子
　　椿原　安弘
　　南　正晴

※表紙の写真は、ひばり保育所の園児、約 50 人が酒樽神社茅の輪くぐりを体験。カヤで編まれた直径 2.5 メートルの輪を加藤三千雄宮司と一緒に８の字を描き、夏を健康に乗り切ることができるように祈りました。

発行：能登町議会　編集：能登町議会広報編集特別委員会
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町字宇出津新 1 字 197 番地 1
ＴＥＬ（0768）62-8540　ＦＡＸ（0768）62-8541